

そばに置きたい



普段使いのシンプルな有田焼

佐賀県の有田焼は、華やかな絵付けのイメージがあるかもしれませんが。私が古くから付き合いのある「大日窯」という窯元は主に日用雑器を作っています。

現在3代目ですが、代々素朴な絵付けの器を作り続けています。紹介するそばちょこととっくりも、シンプルですが飽きのこないデザインになっていると思います。使っている陶土は「選下」という不純物が多い土。ですが、固くて割れにくく、安価で丈夫な日用雑器としては十分です。

大日窯と出会ったのは、私が民芸の世界に入った4年ほど前です。初代窯主だった久保英雄さんの作品をある展覧会で見ました。磁器にかわい



大日窯のそばちょこ・とっくり そばちょこは幅7.5センチ、高さ6.3センチ、とっくりは高さ9センチ。税抜き4500円、問い合わせは久野さんが関わるシルタ合同会社(0946・25・1270)。 外山亮一撮影

らしいウサギが描かれていて、価格は安い。魅了されました。

窯元を訪れ、2代目の徹さんと会いました。年齢が近いこともあり、非常に仲良くなり、制作上のアドバイスを求められるようになりました。

私は絵付けを派手にするのはなく、幾何学模様や線のみでまとめるようにお願いしました。時には何もつけずに白磁そのままのものも。従来の有田焼とは違ったものできてきたと自負しています。

徹さんは数年前に不慮の事故で亡くなりました。今3代目として頑張っているのは、徹さんの次男の博志さんです。

（手仕事フォーラム代表）

久野恵一